

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2024年 3月 15日

事業所名:あくしす湊川

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	基準を満たしたスペースの確保ができています。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	今後もお子様にとって活動しやすいスペースを提供していきます。
	2 職員の適切な配置	基準を満たした人員配置を行い、保育士など専門性のある職員を配置しています。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	今後も基準を満たした人員配置を行い支援を行っていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	段差が少ない室内になっています。各部屋で取り組むことを明確にしお子様にも分かりやすい環境設定にしています。	【はい】2名【どちらともいえない】1名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	引き続き安全確保に努め、お子様たちにとって分かりやすく過ごしやすい環境を整えていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々清掃を丁寧に行い、おもちゃや子どもたちが触れる場所のアルコール除菌も毎日行っています。また、室温や湿度を適宜確認し、必要に応じて温度調整や加湿を行い快適な環境で過ごせるよう努めています。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	引き続き心地よい生活空間を提供していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	PDCAサイクルに基づいて業務改善を行っています。		今後もPDCAサイクルに基づいて業務改善を行っていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者(コンサル)による外部評価をしてもらい業務改善を行っています。		今後も第三者(コンサル)による外部評価をしてもらい業務改善を行っていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	社内では研修を年に数回行っています。また、専門知識向上のために事業所内でも勉強会を実施しています。		引き続き職員の資質向上のため研修機会を確保していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者からの日々の情報や面談時に伺った内容等を基に、支援員から見たお子様のストレングスやニーズを交え個別支援計画書を作成しています。		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別療育を通して行っていく支援と、集団療育を通して行っていく支援を組み合わせ合わせた個別支援計画書の作成をしています。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	今後も丁寧にアセスメントを行い、適切な個別支援計画書の作成に努めます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画書には長期目標と短期目標、また、それらをより詳しく分類したカテゴリに合わせて支援内容を記載しています。		
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	毎月お子様のカンファレンスを行っており、個別支援計画書に沿った支援の検討や共有、また、その評価を行っています。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	今後も個別支援計画書に沿った適切な支援を提供できるよう努めていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	毎月プログラムの立案日を設けて職員全員で立案を行っています。また、1週間の中で活動内容が偏らないように工夫しています。		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	放課後、学休日ともにそれぞれタイムテーブルを組み、メリハリのある活動ができるよう努めています。また、学休日にはお出かけやクッキング、お買い物実習など、放課後には実施できない活動も行えるよう工夫しています。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	放課後、学休日それぞれに合わせたプログラムを立案し、お子様が楽しみながら取り組めるよう努めていきます。また、学休日の際にはお出かけやクッキング、お買い物実習など、感染症対策をしっかりと行いながら実施が出来るよう工夫していきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	立案の際には過去のプログラムの内容も振り返りながら考えるようにしています。同じプログラムでも内容やルールに変化を持たせるなど工夫を行っています。		
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎朝職員全員でミーティングを行っています。その日来所するお子様の前回利用時の様子などの共有、また、その日のプログラムの詳細や役割、流れの確認を行っています。		今後も職員間の共有や連携をしっかりと行い、より良い支援ができるよう努めていきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日お子様が帰られたあとにその日の振り返りを行うミーティングを行っています。活動内容やお子様の様子、支援の内容が適切であったか、ヒヤリハットの確認などを行っています。		今後も職員間の共有や連携をしっかりと行い、より良い支援ができるよう努めていきます。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援の記録はHUGというシステムを利用し、その日のタイムテーブルやひとりひとりのお子様の様子を記録しています。		日々の正確な記録や支援の検証、改善を怠らず継続していきます。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1度以上モニタリングの実施、個別支援計画書の内容の見直しを行っています。		今後も定期的にモニタリングを行い、適切な個別支援計画が立てられよう努めます。
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者や施設長が基本的には参加しています。また、支援向上のためにお子様ひとりひとりに対する担当職員を配置しており、必要に応じて担当職員も同席しています。		今後もお子様の状況をしっかりと把握した者が担当者会議に参加していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	今年度は対象児童がいませんでした。		今後児童発達支援のお子様のご利用があった際には、円滑な移行支援のために必要に応じて他機関への情報提供や共有を行ってまいります。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	円滑な移行支援のために必要に応じて他機関への情報提供や共有を行ってまいります。		今後も円滑な移行支援のために必要に応じて他機関への情報提供や共有を行ってまいります。また、必要な方には相談支援事業所を繋げるなど、継続した支援を受けていただけるよう努めてまいります。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	発達障がい者支援センターからの研修案内をいただいた際には職員間で共有し、参加を促しています。		今後も積極的に研修への参加を促していきます。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現時点では障がいのないお子様との交流会などは実施していません。	【はい】2名【どちらともいえない】1名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	今後保護者の方やお子様からの希望があれば検討していきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現時点では様々な感染症の影響なども考え事業所の行事に地域の方を招待することはできていません。今年度は1.17を経験された地域の方にお越しいただき体験談を話していただくことはありました。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	今後感染症の状況を見ながら、保護者の方やお子様からの希望があれば検討していきます。
	保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援の内容や利用者負担額についてはご契約時に直接説明を行ってまいります。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		利用開始時や個別支援計画書の更新の際には直接計画書を提示し、支援内容について説明を行ってまいります。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	今後も利用開始時や個別支援計画書の更新の際には直接計画書を提示し、支援内容について説明を行ってまいります。
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		現時点ではペアレント・トレーニングなどは行っていません。面談時などにご相談いただいた内容に関しては情報提供や助言を行えるよう努めています。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	今後保護者の方から希望があれば検討していきます。
4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底		日々のお子様のご様子は送迎時やメール、電話などでお伝えさせていただいたり、ご家庭のご様子を伺ったりしています。また、必要に応じて面談も行っています。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	引き続きお子様のご様子や情報など丁寧にお伝えをさせていただきます。
5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施		ご相談をいただいた内容に関しては職員間で共有し、丁寧に傾聴したり助言できることがあればお伝えをしています。	【はい】2名【どちらともいえない】1名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	ご相談をいただいた際には職員間で共有し、丁寧に傾聴したり助言できることがあればお伝えをしてまいります。
6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		今年度は放課後等デイサービスウィズと合同で保護者会を開催しました。支援学校の先生による講演と学年の近い保護者様同士でグループを作り座談会を行いました。	【はい】2名【どちらともいえない】0名【いいえ】1名【無回答】0名【ご意見】	次年度以降も継続的に保護者会の実施を行ってまいります。アンケート結果より、保護者会の開催を知らなかった方もおられるようなので、告知方法に関しても検討していきます。
7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応		苦情窓口についてはご契約時に説明を行ってまいります。また、ご指摘をいただいた内容に関しては迅速に対応し、職員間でも共有を行い再発防止に努めています。	【はい】2名【どちらともいえない】1名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	苦情やご意見をいただいた際には迅速に対応し、職員間で共有・改善に努めます。
8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮		保護者の方への情報伝達は送迎時に丁寧に行うよう努めています。お子様とのやり取りの際も気持ちを汲み取れるよう努めています。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	今後も保護者の方への情報伝達は送迎時などに丁寧にお伝えをし、お子様とのやり取りの際も気持ちを汲み取れるよう努めてまいります。
9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信		行事予定やプログラムの詳細に関してはHUGというシステムを通して毎月発信を行ってまいります。また、日々のご様子はSNS(Instagram)を利用し発信を行ってまいります。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	引き続き現状を維持し、情報の発信やお子様のご様子などSNSなどを通じて発信していきます。
10 個人情報の取扱いに対する十分な対応		紙ベースの情報はセキュリティエリアにて鍵付き書庫へ保管し、PC保管データに関してはUTMの搭載と、EDRセキュリティを導入し、個人情報を丁寧かつ慎重に取り扱うよう努めています。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	お預かりしている個人情報に関しては丁寧かつ慎重に取り扱うよう引き続き努めてまいります。
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	全事業所合同で行う委員会活動にて当該委員会を設置し、マニュアル類は全て策定しており、適宜改善や見直しを行っています。ご契約時などに保護者の方にもお伝えしています。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	今後もマニュアル類はしっかりと策定、改定を行い保護者の方にも周知徹底を行ってまいります。アンケート結果より、周知されていない保護者の方もおられるので周知方法を検討していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月に1度必ず避難訓練を行っています。火災、地震、不審者、風水害など様々な状況を想定して実施しています。今年度は地震を想定した連絡訓練の実施を3回行いました。	【はい】3名【どちらともいえない】0名【いいえ】0名【無回答】0名【ご意見】	今後もしっかりと避難訓練などを行い、万が一の災害に備えてまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に1度以上は全職員(パート含む)に対して虐待防止のための研修を実施しています。		今後も定期的に研修を行い、虐待防止に努めていきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	やむを得ず身体拘束を行う場合の対応については、ご契約時に説明をさせていただき承を得ています。また、「やむを得ない状況」に関しては、社内の虐待防止委員会で組織的な決定を行い職員間で周知しています。		やむを得ず身体拘束を行う場合のことについてはご契約時にきちんとご説明をさせていただき、個別支援計画書にも記載を行ってまいります。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーがある方に関してはご契約時に丁寧に聞き取りを行い適切な対応を行っています。		今後も保護者の方から丁寧に聞き取りを行い適切な対応を行ってまいります。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎日帰りのミーティングでその日ヒヤリハットがなかったかの確認、共有を行い事例集を作成しています。また、社内のリスクマネジメント委員会で共有を行い自事業所以外の内容も把握することで、同じことが起きないように防止に努めています。		今後もヒヤリハットの共有、事例検討を継続し、大きなけがや事故がないよう防止に努めていきます。